

# おおだて 市議会だより

116号

平成27年5月1日



北陽中学校入学式  
平成27年4月7日

平成27年3月定例会(会期:2月24日~3月16日)

- 主な議案等の審査結果(第1回臨時会、3月定例会) …… P. 2
- 一般質問…………… P. 4
- 行政視察の受け入れ状況…………… P. 9
- 私もひ・と・こ・と…………… P. 10

# 主な議案等の審査結果

## 第1回臨時会（会期：1月21日）

内訳：専決処分の報告1件、予算案1件

計2件

主な案件・内容	結果
○ 平成26年度大館市一般会計補正予算（第8号）案 主に、市道の除雪経費を追加したものです。	原案可決 補正総額3億5,377万5,000円

## 3月定例会（会期：2月24日～3月16日）

内訳：専決処分の報告1件、専決処分の承認1件、条例案19件、単行案3件、予算案41件、異議申し立ての諮詢1件、人事案2件、請願4件、陳情6件、議員提出の条例案2件、意見書案1件、議員の派遣1件、継続審査中の請願5件・陳情8件

計95件

主な案件・内容	結果
○ 介護保険条例の一部を改正する条例案 事業の安定を図るため基準保険料を改定するとともに、保険料の所得段階区分を細分化するものです。	賛成多数により 原案可決 (賛成26) 反対1
○ エコプラザに関する条例案 資源の有効利用・廃棄物の減量に関する意識の向上を図るとともに、自主的な活動を支援する場として、平成27年度中にエコプラザが設置されます。その管理と運営について定めるものです。	原案可決
○ 平成26年度大館市一般会計補正予算（第10号）案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁舎整備等基金積立金 3億0,036万9,000円</li> <li>・ ふるさと応援基金積立金の追加 1億0,060万3,000円</li> <li>・ 財政調整基金積立金の追加 3億1,467万0,000円</li> <li>・ 生活バス路線維持費補助金 1億4,599万4,000円</li> <li>・ 教育施設整備基金積立金 1億1,638万5,000円</li> </ul> ほか、補正総額11億5,115万1,000円	原案可決
○ 平成27年度大館市一般会計予算案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規需要米等生産拡大緊急対策事業費補助金 6,390万6,000円</li> <li>・ 釧路内産業団地整備事業 7,303万1,000円</li> <li>・ 公共施設再生可能エネルギー等導入事業 1億1,453万2,000円</li> <li>・ 臨時福祉給付金 1億3,794万1,000円</li> <li>・ 小・中学校耐震改修事業 3億5,125万9,000円</li> </ul> ほか、総額308億5,339万2,000円	賛成多数により 原案可決 (賛成25) 反対2

主な案件・内容	結果
○ 平成26年度大館市一般会計補正予算（第11号）案 ・ プレミアム商品券発行事業	1億1,424万4,000円 ほか、補正総額3億4,196万7,000円 原案可決
<議員提出の条例案>	
○ 大館市議会基本条例案	原案可決

## 請願・陳情

### 3月定例会に提出されたもの

請 願	○ 地酒による乾杯の秋田杉の器への補助について ○ TPP交渉に関する国会決議を遵守することについて	採 択
	○ 農協改革を初めとした農業改革について ○ 米価対策に関することについて	
陳 情	○ 最低賃金の改善と中小企業支援拡充を求めるごとについて ○ 労働時間法制の規制強化と安定雇用の確立を求めるごとについて	趣旨採択
	○ 集団的自衛権行使を容認した閣議決定の撤回を求めるごとについて（2件） ○ 介護報酬の引き下げに反対し、介護事業所の経営安定と介護労働者の待遇改善を求めるごとについて ○ 沖縄県辺野古新基地建設工事の中止を求めるごとについて	継続審査

### 継続審査となっていたもの

請 願	○ 放射性セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について ○ TPP交渉について（2件） ○ 農業改革について ○ 集団的自衛権行使を容認した閣議決定の撤回を求めるごとについて	
	○ 教育費無償化の前進について ○ 雇用の安定を求めるごとについて ○ 地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定の法改正を求めるごとについて ○ 軽度外傷性脳損傷の周知と労災認定基準の改正を求めるごとについて ○ 消費税の増税中止を求めるごとについて ○ ウィルス性肝炎患者に対する支援の拡充を求めるごとについて ○ 労働時間法制の改悪に反対し、安定した雇用の実現を求めるごとについて ○ 年金積立金の安全かつ確実な運用について	継続審査

### — 意見書の提出 —

#### ○ TPP交渉に関する意見書

《提出先》 内閣総理大臣、農林水産大臣、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）



# 一般質問

- [4] -

佐藤芳忠議員（無所属）



平成27年5月1日(No.116)

〔問〕 要支援1と2の訪問介護とデイサービスの市町村事業への移行については、国は介護保険の費用を抑えるため、介護度の低い要支援の一部を切り離しましたが、要支援の程度が同じでも家庭環境等によって介護サービスの必要性と利用状況は異なります。今まで国は事業でしたので、全国一律の手厚いサービスを受けることができましたが、市町村へ移行されることにより、「訪問介護」と「デイサービス」の内容や価格を市町村が決定することになるため、市町村間でサービスに大きな差がつくことが予想されます。

要支援の『訪問介護』とデイサービスの市への移行や特別養護老人ホームの『入所基準の厳格化』など介護保険制度改正に対する市の対応について

〔問〕 10年後の2025年に3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上になります。来るべく大介護時代を乗り切るため、27年度から介護保険は一部給付が縮小され、大きな見直しが行われる事になりました。今回の主な改正点は、要支援1と2の訪問介護とデイサービスの市町村への移行、特別養護老人ホームの入所制限、一定所得者への食費・居住費負担の引き上げ、280万円以上の年金受給者の2割負担などが、その内容は、市町村と施設入所と介護保険利用者の負担増でしかありません。

要支援の『訪問介護』とデイサービスの市への移行や特別養護老人ホームの『入所基準の厳格化』など介護保険制度改正に対する市の対応について

〔問〕 護老人ホームの新規入所者を要介護3以上に限定してしまうと、低所得者にとって大きな問題となるものです。

〔問〕 10年後の大介護時代を乗り切るため、27年度から介護保険は一部給付が縮小され、大きな見直しが行われる事になりました。今回の主な改正点は、要支援1と2の訪問介護とデイサービスの市町村への移行、特別養護老人ホームの入所制限、一定所得者への食費・居住費負担の引き上げ、280万円以上の年金受給者の2割負担などが、その内容は、市町村と施設入所と介護保険利用者の負担増でしかありません。

〔市長〕 これまで全国一律の利用料としてきた介護保険給付は、自治体ごとに利用料を定めることとなります。高齢者が地域で安心して暮らし続けられるようにしてまいりたいと考えております。

〔市長〕 次に、特別養護老人ホームへの入所については、要介護1及び2の方の入所には、透明性・公平性の確保と市町村による適切な関係が必要とされていることから、本市においても国の指針に基づき適切な運用に取り組んでまいります。

〔市長〕 地方創生施策の対応は、この機会を的確に捉え仕事をつくり、人を育て、町を維持するために努力することが喫緊の課題だと思う。市長の思いをお聞きしたい。

〔市長〕 本年4月には、地方創生に対応する専門部署として企画調整課内に総合戦略推進室を設置した上で国・県の制度を最大限活用し、本市への人や物の流れを太く確実なものとしたいと考えている。

〔市長〕 地方創生施策の整備を内唯一の第2種公認競技場であり、維持するためには多額の費用が必要である。計画的な整備を行なうべきと考えている。

〔市長〕 長根山陸上競技場は昭和58年の開設以来、県内外の主要大会が開催され地域活性化に大きな役割を果たしてきた。今後は、計画的に施設の改修や用具の更新を進め、第2種公認が維持できるよう取り組んでまいりたい。

〔市長〕 長根山陸上競技場は昭和58年の開設以来、県内外の主要大会が開催され地域活性化に大きな役割を果たしてきた。今後は、計画的に施設の改修や用具の更新を進め、第2種公認が維持できるよう取り組んでまいりたい。

〔問〕 市長7選目に向けた財政運営方針は

〔問〕 地方交付税減額に対する具体的策は。国の26年度第1次補正予算が可決、成立し、交付



高橋松治議員（社会民主党）

〔問〕 農業の将来像を問う

〔問〕 安倍首相は強い農業をつくると訴えているが疑問がある。具体的な政策は。

〔市長〕 国は、農業・農村の所得増を目指す施策を推進するとしている。小規模農家が廃業せざるを得ない状況にならないよう意欲ある小規模農家に対しても支援を行い、農業所得の向上が図られるよう進めてまいりたい。

〔問〕 廃棄物処理施設の整備を

〔問〕 市の燃やせるごみを処理している大館クリーンセンターは、事業開始から10年目で今後の運営協議が始まる。地域住民の願いである事業の長期的な継続を切望する。市長の率直な思いをお聞きしたい。

〔市長〕 大館クリーンセンターの運営については、これまで基準等を遵守し適切に行われた。今後、契約期間延長案の協議が行われるが、効率的に事業が継続できるよう協議を進めてまいりたい。

〔問〕 長根山陸上競技場は県内唯一の第2種公認競技場であり、維持するためには多額の費用が必要である。計画的な整備を行うべきと考えている。

〔市長〕 長根山陸上競技場は昭和58年の開設以来、県内外の主要大会が開催され地域活性化に大きな役割を果たしてきた。今後は、計画的に施設の改修や用具の更新を進め、第2種公認が維持できるよう取り組んでまいりたい。

〔市長〕 長根山陸上競技場は昭和58年の開設以来、県内外の主要大会が開催され地域活性化に大きな役割を果たしてきた。今後は、計画的に施設の改修や用具の更新を進め、第2種公認が維持できるよう取り組んでまいりたい。

# 一般質問

平成27年5月1日(No.116)

相馬　エミ子議員(新生クラブ)



## 除排雪問題

### 流雪溝の必要性は

【問】 ことしは、平成18年豪雪を上回る記録的な大雪に見舞われ、毎日の除雪に市民は悲鳴を上げていた。例えば、天下町が狭い住宅地は、新たな雪押し場の確保や排雪を徹底させるべきと思うが。

【市長】 降雪期前に各町内会、除雪業者、市とで現地確認と情報交換を行い雪押し場の確保に努めているが、空き地等の所有者への優遇措置の検討など、さらなる確保に努めてまいりたい。

【問】 雪捨て場の確保と満杯時の周知方法について伺う。

【市長】 雪捨て場については、長木川河川敷を初め大館地域5カ所、比内地域3カ所、田代地域6カ所の計14カ所確保している。本年度は大雪で満杯となって途中で閉鎖したところもあり、周知が行き届かず市民に御不便

をおかけした。今後、雪捨て場閉鎖の際は地元紙や市ホームページなどで周知徹底してまいりたい。

【問】 私道の除排雪について伺う。

【市長】 現在、延長104キロメートルの除雪を実施しており、今後も機械除雪が可能で市民の安全確保の面から必要な箇所については、除雪するよう努めてまいりたい。

【問】 流雪溝の必要性について伺う。

【市長】 比内地域8カ所で7,770メートルが整備済みで有効な施設と認識している。新たな流雪溝は、水源や放水先の流下断面の確保など多額の整備費用がかかるため、駅前の舗装整備と駐輪場の確保を。

【市長】 J Rと市で整備する方向で考えている。トイレも一部改修し利便性の向上を図つてまいりたい。

【市長】 比内地域8カ所で7,770メートルが整備済みで有効な施設と認識している。新たな流雪溝は、水源や放水先の流下断面の確保など多額の整備費用がかかるため、駅前の舗装整備と駐輪場の確保を。

佐藤 健一議員(いぶき21)



を10段階に区分したところ全てが貧困層とはならないが、何らかの支援を必要とする世帯が多いと考えられる。今後も子供たちが希望を持って成長するための支援策を講じてまいりたい。

【問】 下川沿駅前の舗装整備と駐輪場の確保について

【問】 平成28年に統合高校が開校する。下川沿公民館改築と文教エリア散策路の整備に合わせ、新道山公園と下川沿駅の利用者はますますふえると思われるため、駅前の舗装整備と駐輪場の確保を。

【問】 移住対策の6つの側面から検討を重ねた。その結果、出会いの場の不足等さまざまな課題が指摘された。今後は、総合戦略推進室を4月に設置し、創生に向けた取り組みを強化する。

【市長】 合併から10年の総括について

【問】 合併から10年を迎えるとしているが、市長はどう総括しているのか。成果と課題を問う。

【市長】 合併時には、首長などの特別職や議員定数が削減され、消防・医療職を除く職員数を合併直後の804人から66人へ削減した上で1市2町の委員会等の各行政委員会も一本化し、業務及び施設の整理、統廃合を進め、サービス水準を落とさずに行政効率を上げたことが最も大きな成果である。また、

えているのか。

【市長】 人口減少については、雇用の確保が最も効果的な施策と考え企業誘致等を展開してきたが、日本創成会議の推計では本市も「消滅可能性都市」の一

つとされ、昨年6月に人口減少問題対策に関する市内プロジェクトチームを立ち上げて人口減少の影響評価、雇用・就労、結婚・出産、子育て教育環境及び

クレームを立て人口減少

【問】 地域応援プランや空き公共施設の利活用等を初め、数多くの企業立地を図ることができたこと

も成果であるが、一方で分庁方式により「窓口が分散し不便」「合併前のようなきめ細かなサービスが不足」と指摘されている。

【問】 公民館分館の維持について

【問】 雨漏りが見受けられる分館があるが、これらの補修等と今後の分館の維持は。

【市長】 赤川分館及び岩瀬分館の雨漏りは応急対策をし、新年度に早急に補修する。公民館は地域コミュニティの拠点施設であり、災害時の避難所でもあることから、今後も分館機能が維持できるように努めていく。

【問】 高齢者世帯に対する屋根の雪おろしや排雪の費用助成をする考えはないか。

【市長】 高齢者の安全確保と費用負担の軽減を図るために、おろしを行なうことが困難な高齢者等が民間事業者へ雪おろしを依頼する際の費用や、自治会や除雪ボランティアによる地域ぐるみで行う高齢者世帯等の雪おろし支援に助成を検討していく。

## 地方創生について

【問】 国・県の地方創生政策に対応した施策をどのように考



# 一般質問

平成27年5月1日(No.116)

千葉 くらお 倉男議員(平成会)



べらいいるのか。さらに、新たな介護施設計画があるのか。

【市長】 各種事業で見守り活動や高齢者への支援をしており、今後も引き続き高齢者の孤独感や不安の解消につながるよう対策を講じてまいりたい。また、

場を提供しようと婚活パーティを開催されたが、今後もこの企画を継続していくのか。また、安心で明るく暮らせるような若者への就労支援や子育て支援策の充実は。

【市長】 あきた結婚支援センターを中心に登録会員への情報提供や出会いのきっかけづくりなどの支援を行っており、男女共同参画の推進など各ライフステージに応じた環境整備をしてまいりたいと考えている。

高齢者への対策について

【問】 ひとり暮らしの不安感解消と積極的な支援策が必要と考えるが、市の対応は。また、施設への入居希望待機者はどの

人がいるのか。さらに、新たな介護施設計画があるのか。

【市長】 各種事業で見守り活動や高齢者への支援をしており、今後も引き続き高齢者の孤独感や不安の解消につながるよう対策を講じてまいりたい。また、

来年度は80人規模の特養ホームの開設が予定されている。

特殊詐欺による被害防止への対応について

【市長】 被害に遭われる方は65歳以上の高齢者が圧倒的に多いが、被害防止のための対策をとっているのか。また、今後の対応や課題は。

【問】 被害を未然に防ぐためには、まず第一に「自分だけは大丈夫」という意識を払拭することが重要であると考えております。広報やマスコミなどを通じて周知するとともに、警察や防犯協会などの関係機関と連携して不審電話などの情報を共有し、市民の財産を守つてまいりたい。

企業の誘致と若者定住策について

【問】 大館の将来を担うのは若者である。未来に希望を持つて、明るく元気あふれる大館にするためには若者の定住が不可

欠であるが、具体的な施策はあるのか。

【市長】 人口減少対策を進めいく上で、若者世代の移住・定住をいかにして実現していくかは大きな課題である。「まち・ひと・しごと創生法」関連の業務を専門に取り扱う部署として、総合戦略推進室を創設し、定住促進に向けて取り組んでまいりたい。

【問】 定年も延びており、なれど手が少ないので、5期10年にできないか。

【市長】 人口減少対策を進めいく上で、若者世代の移住・定住をいかにして実現していくかは大きな課題である。「まち・ひと・しごと創生法」関連の業務を専門に取り扱う部署として、総合戦略推進室を創設し、定住促進に向けて取り組んでまいりたい。

【問】 定年も延びており、なれど手が少ないので、5期10年にできないか。

【教育長】 公民館長は、教育長が推薦し教育委員会が任命するが、地域の実態に即するため空き地等の所有者に排雪場所が足りないのを確保を。

【問】 全てに中ぶたを設置している。

【市長】 今後も計画的に、そして速やかに更新していきたい。

公民館長の勤務年数について

【問】 定年も延びており、なれど手が少ないので、5期10年にできないか。

【教育長】 公民館長は、教育長が推薦し教育委員会が任命するが、地域の実態に即するため空き地等の所有者に排雪場所が足りないのを確保を。

【問】 全てに中ぶたを設置している。

【市長】 今後も計画的に、そして速やかに更新していきたい。

【問】 報酬引き下げにより、介護職員の賃金に影響が出なければよいと思うが。

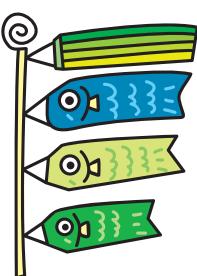
【市長】 介護報酬の引き下げについて

【問】 マンホールに融雪防止用の中ぶたを取りつけは。通

【市長】 新たな流雪溝の整備は、多額の維持管理費用が課題となる。各町内の皆様が利用する雪押し場の確保に努めるとともに新たなシステムを検討したい。

【問】 全てに中ぶたを設置している。

【市長】 今後も計画的に、そして速やかに更新していきたい。



【問】 雪防止用の中ぶたの設置を行っており、設置率は38・7%であ

つている。この対策として、融雪防止用の中ぶたの設置を進め行に支障を来すことが問題とな

田中 耕太郎議員(いぶき21)



たものと評価している。今後は、駅前開発や公共施設全体計画等も勘案し、将来の方向性を見出したい。

### ふるさと納税について

寄附額や回数等に応じたポイント制、もしくはマイル制度の導入を。

### JR大館駅前の再開発について

必要性に対する市長の認識は。

〔市長〕 旧小坂鉄道跡地を活用することで、昭和50年代以降、実現に至らなかつた大館駅前開発のための具体策を検討したい。

〔市長〕 市民プールは、45年水泳協会から要望のあつた屋内プール併設型施設建設を。

〔市長〕 市民プールは、45年目を迎える附属施設や設備とも老朽化しているため、建てかえしなければならないと考えている。

また、新庁舎の建設場所として市民体育館周辺が第一候補地とされたことを受け、プールの建設場所を早期に定めたい。要望書は、プール施設を市民の健康づくり、スポーツ振興、中心街のまちづくりの核と位置づける夢あふれる提案であり、コンパクトシティの考えに基づく公共施設の集中配置にもかなつ

ふるさと納税について

〔市長〕 昨年4月、市民生活に重大な影響を及ぼすさまざま

な危機に一元的に対応するため、総務部内に危機管理課を新設し

た。今冬の豪雪は、平成18年豪雪を超える記録的なものとなつ

たため、大雪に関する注意喚起や除雪支援事業等の周知を図った。インフルエンザの流行については、市内の病院と介護施設で集団感染が発生したため、危機管理課が主導し、府内関係部署で感染症対策連絡会議を開催し、感染予防対策を強化したほか、特に免疫力の弱い高齢者や子供には十分な対策をとるよう周知・啓発に努めた。このたびの大雪やインフルエンザ、突発的な自然災害などに対しては、まさに自治体の総合力が問われるところになるため、今後も市全体の危機管理体制を強化してまいりたい。

〔市長〕 団塊の世代のUターン者の増加の動きはないが、地方へのIターン希望者の流入を促進していく。

〔市長〕 高齢者の地方移住に対する取り組みは。

雪や庄雪除去などで、現地を確認して対応している。課題は豪雪時の除雪体制や空き家対策。地域防災計画に「雪への対策」を盛り込み、各種対策を講じる。

〔市長〕 アメリカ市等主要イベントに加え、来年度は肉のイベントも企画。海外からの教育旅行誘致や外国旅行を扱う業者のモニターリングなどを計画している。

### 「農&商工交流」の推進について

〔市長〕 県主催の「農&商工交流」がことしも開催されたが、本市独自の取り組みは。

〔市長〕 生産者と商工業者の結びつきを強化し、6次産業化の推進とビジネスモデルの構築を支援したい。

〔市長〕 生産者と商工業者の結びつきを強化し、6次産業化の推進とビジネスモデルの構築を支援したい。

〔市長〕 県主催の「農&商工交流」がことしも開催されたが、本市独自の取り組みは。

〔市長〕 カラスや熊等の被害の実態と対策は。

〔市長〕 カラスや熊による被害件数は56件で、被害額は600万円。カラス対策として、餌となる生ごみの管理徹底を継続していく。カラスの生息調査ではピーク時の5,000羽から約半数に減った。

〔市長〕 NHK大河ドラマ「花燃ゆ」で松下村塾がよく出てくる。今こそ大館市の松下村塾にもスポットライトを当てるべき。

〔市長〕 広報や市ホームページなどで幅広くPRしていく。

〔市長〕 NHK大河ドラマ「花燃ゆ」で松下村塾がよく出てくる。今こそ大館市の松下村塾にもスポットライトを当てるべき。

### カラス対策について

〔市長〕 カラスや熊等の被害の実態と対策は。

〔市長〕 カラスや熊による被害件数は56件で、被害額は600万円。カラス対策として、餌となる生ごみの管理徹底を継続していく。カラスの生息調査ではピーク時の5,000羽から約半数に減った。

〔市長〕 NHK大河ドラマ「花燃ゆ」で松下村塾がよく出てくる。今こそ大館市の松下村塾にもスポットライトを当てるべき。

〔市長〕 広報や市ホームページなどで幅広くPRしていく。

〔市長〕 NHK大河ドラマ「花燃ゆ」で松下村塾がよく出てくる。今こそ大館市の松下村塾にもスポットライトを当てるべき。

### 松下村塾の活用について

〔市長〕 生産者と商工業者の結びつきを強化し、6次産業化の推進とビジネスモデルの構築を支援したい。

### 松下村塾の活用について

〔市長〕 生産者と商工業者の結びつきを強化し、6次産業化の推進とビジネスモデルの構築を支援したい。

### 豪雪対策について

〔市長〕 除雪苦情への対応や除雪が困難な世帯への雪対策は。

〔市長〕 2月末現在、苦情・要望は千件を超え、その内容は雪押し場や道路の排雪、間口除

雪を超える記録的なものとなつ

たものと評価している。今後は、駅前開発や公共施設全体計画等も勘案し、将来の方向性を見出したい。

ふるさと納税について

寄附額や回数等に応じたポイント制、もしくはマイル制度の導入を。

### JR大館駅前の再開発について

必要性に対する市長の認識は。

〔市長〕 旧小坂鉄道跡地を活用することで、昭和50年代以降、実現に至らなかつた大館駅前開発のための具体策を検討したい。

〔市長〕 旧小坂鉄道跡地



私もひ・と・こ・と 第23回

「」の「」で、みなさんが「」を募集しています。お気軽に「」投稿下さい。



若木由紀夫さん（大館市白沢）

昨年五月に発表された「日本創生会議」レポートは衝撃的だった。人口減少が加速度的に進行した。人間社会が、これまで以上に危機感を抱く時代に入った。

になる、という。推計には異論も出されているが、人口減少とともになう地域の衰退は待つたなし、喫緊の課題である。

矢立地区でも篤農家で知られるNさんの話に、私は愕然とした。  
「白沢駅には鉄道の引き込み線がある。地域をなくさないために、農地を埋め立てて工場を誘致した方がいい」

地域衰退への不安と、農政への不信もここまでとは！

獅子踊りや中学生による社寺の別当など、伝統芸能・行事の開催も年ごとに厳しさを増していくが、住民は相互扶助と地域への愛着を大切にして暮らしている。

矢立村から花矢町を経て大館市へ。そしてこの四月からは、第二中学校、花岡中学校と統合し、新生「北陽中学校」に引き継がれることになった。

時代の趨勢<sup>きずせき</sup>とはいえ、学校統合は寂しくもあり、将来不安にかられる一大事である。

—今できる」とを、  
ひとつずつ

若木由紀夫さん（大館市白沢）

こうした思いを実感するのか  
地区最大のイベント「夏祭り」  
だ。親交会（壮年層）や子供会  
の保護者が裏方に徹し、生ビー  
ルや焼きそば、子供たちの遊び  
場をつくり、地域の人たちは舞

踊やダンス、カラオケなどを楽しむ一日となつてゐる。十周年を迎えるこの交流イベント、多數の参加を得て成功さ

（裁判所側）傍聴されるかたは、市役所東側3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従つて議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

編集後記

431708 (直通)

4年前の3月11日。私は、市役所3階の控室で原稿を書いていた。そのとき、突然大きな揺れに驚き、まずは1階までおりた。その後のことは皆さん御承知のとおり。津波等で亡くなられた方、残された御家族、原発事故で今なお遠くふるさとから離れた地で暮らしている方々等々、私たちにはわかり得ない苦労を強いられている。その被災者に寄り添う施策に取り組むよう、遠いこの地からも国に声を上げ続けなければ—との思いを新たにしているところです。

(篠島  
愛子  
記)